

景況レポート

(4月分・情報連絡員80名)

景況DI値が2ヵ月連続で後退

【概況（全体）】

4月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが7.5%（前回調査12.5%）、「悪化」が43.8%（同40.0%）で、業界全体のDI値は-36.3となり、前月調査と比較して8.8ポイント下回り、景況感は2ヵ月連続で後退した。

全国及び東北・北海道ブロックとの比較では、本県の景況DI値は、製造業は全国を上回っているものの、非製造業は6ヵ月連続で後退したため全国を大幅に下回り、全体のDI値は、全国及び東北・北海道ブロックと比較し低い水準で推移した。

【業界別の状況】

業界別では、木材・木製品や印刷、鉄鋼・金属、卸売業、商店街などで景況感が後退した。また、建築用合板を製造する秋田プライウッド向浜第二工場の火災により、木材・木製品や運送業では、売上などに影響が見受けられた。

全体の景況感としては、各業界とも需要の低迷や個人消費の低迷により景気の停滞が感じられる状況であり、為替相場における円高傾向などと相俟って、中小企業の先行き不透明感は一層増大している。

＜全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較＞

	秋田県	全 国	東北・北海道
全 体	-36.3	-29.7	-24.5
製 造 業	-25.0	-30.4	-20.7
非製造業	-43.7	-29.1	-26.4

＜景況天気図＞

項目 業種	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製 造 業						
非製造業						

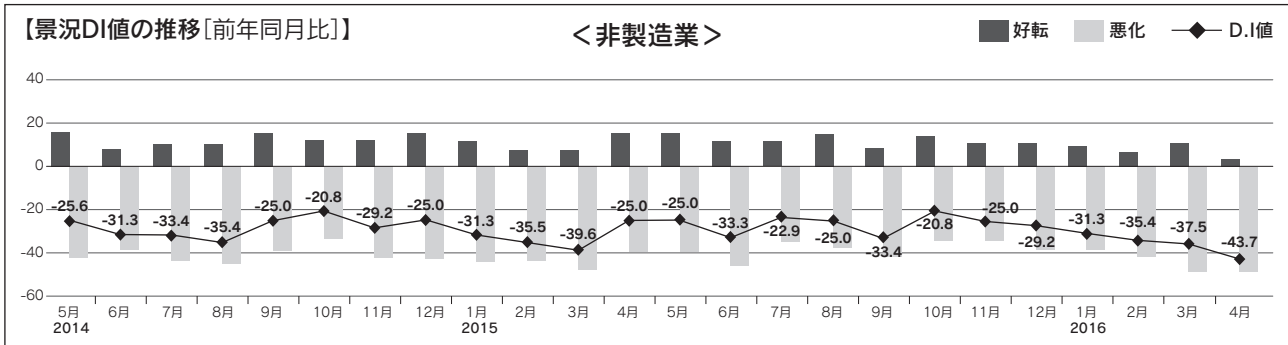
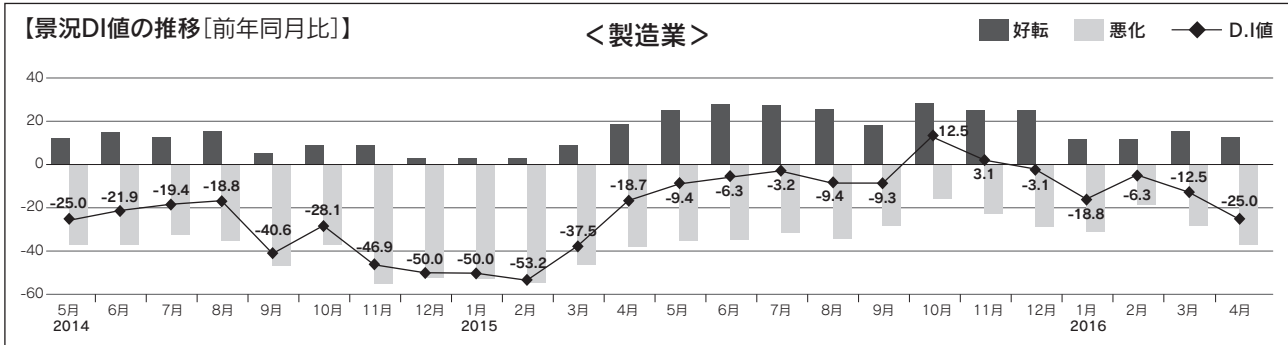
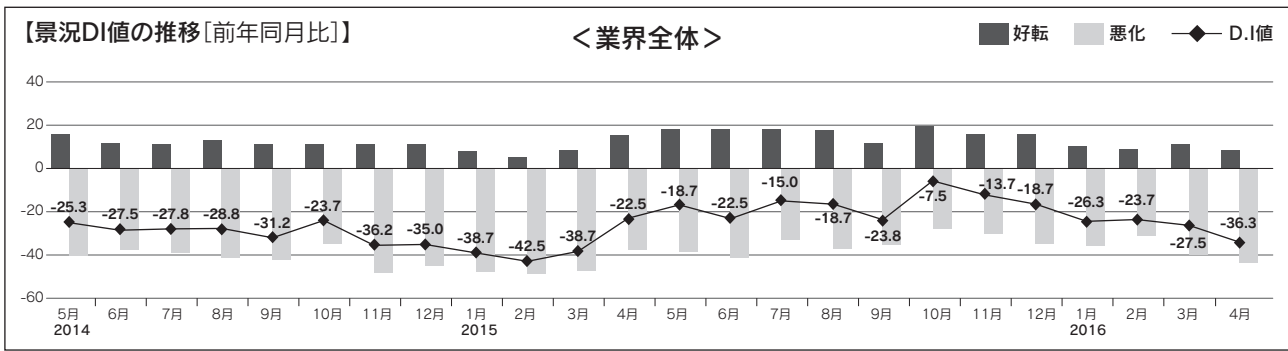
【凡例】 **【天気図の見方】**
前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

【業界の声】 ～製造業～

(回答数：32名 回答率：100%)

食 料 品 (味噌醤油)	3月の味噌の出荷量は前年同月比で103.3%、醤油は同105.5%で推移した。
食 料 品 (米飯給食)	4月の売上は、大手スーパーチェーンの寿司製品の受注増が寄与し、前年同月比101.9%で推移したが、収益状況は原材料価格の上昇等の影響により、減益となる見込である。
織 維 工 業 (ニ ッ ト)	夏物衣料の生産がピーク期であり、組合員企業各社とも順調に受注を確保できている。
木材・木製品 (一般製材)	5月に製品販売単価の価格改定を控えているが、値上げの気配はなく現状維持となる見込である。(中央地区)
木材・木製品 (素材生産)	合板用原木は、秋田プライウッド向浜第二工場の火災により、納材が一時停止となったため売上は減少し、在庫数量も増加となった。今後は、秋田プライウッド第一工場及び男鹿工場がフル稼働することにより、生産量は9割程度まで回復が見込まれるため、影響は縮小すると予想される。
印 刷	需要の低迷が続いており、用紙・材料の値上がり分を価格転嫁することは非常に難しく、経営を圧迫している。(中央地区)
窯業・土石製品 (生コンクリート)	4月の出荷数量は、前年同月比で約90%となった。平成27年2月以降14ヵ月連続で前年を下回っており、ここ半年間は前年同月比80%台で推移している。
鉄鋼・金属 (鉄 鋼)	新年度に入ったが、官公庁関係の工事はまだ動きがなく、手持工事についても各組合員企業によりバラツキが見られる。
一 般 機 器 (金属加工)	受注は確保できており業況は活発に推移しているが、依然として利幅の小さい仕事が多く短納期物件が主体であり、取引条件は厳しい。
その他の製造業 (曲げわっぱ)	弁当箱は相変わらず人気があり、在庫が不足するなど好調な受注が続いている。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：48名 回答率：100%)

- | | |
|--------------------|--|
| 卸売業
(青果) | 4月の売上は、前年同月比96.8%で推移した。例年4月は野菜が高値であるが、今年は気温が高く入荷数量は安定している。 |
| 小売業
(みやげ品) | 団体旅行の貸切バス運賃の値上がりに伴い、旅行客が前年より大幅に減少している。組合では、秋田犬や稲庭うどん工房などの見学により集客を図り、売上を維持している。 |
| 小売業
(石油) | ガソリンの小売価格は、1ℓあたり116円で前月比1.2円の値上がり、軽油や配達灯油も値上がりした。原油の輸送コストが値上がりし、卸売価格も値上がりとなった。製品スポット市況も比較的堅調であり、5月も小売価格の値上げが見込まれる。 |
| 商店街 | 消費者の買い控え傾向が続いており、今後も売上の増加は見込めない。なお、飲食業は概ね好調であり、中でも高額な飲食店等が順調に推移している。(秋田市) |
| サービス業
(自動車整備) | 4月の自動車検査台数実績は、前年同月比で登録車が18.8%減少、軽自動車も5.3%減少し、全体で13.2%減少となった。2年前の消費税増税による新車駆け込み代替が影響したと考えられる。 |
| サービス業
(旅行) | 4月の売上は、前年同月比で国内旅行が108%、海外旅行が80.1%となった。大型連休を迎え、国内旅行は安定した伸びを見せている一方、海外旅行は低調に推移した。 |
| 建設業
(管工事) | 組合取扱資材の売上は、前年同月並みで推移した。組合では、熊本地震の復旧応援要請を想定し、体制を検討中である。(秋田市) |
| 建設業
(電気工事) | 新築・増築工事ともに受注量は前年同月並みに推移しているが、農繁期に入り、人材不足に拍車がかかっている。(大仙市) |
| 運輸業
(トラック) | 4月に入り、荷動きが少なくなった。また、秋田からの出荷物となる合板は、秋田プライウッド向浜第二工場の火災により輸送がなくなり、痛手となった。(中央地区) |
| その他の非製造業
(砂利採取) | 生コン用骨材は前年同様に若干動きが見られたが、路盤材等の骨材は相変わらず鈍い状況である。(県南地区) |